

一層の安定企業目指す

『創業50周年を迎え』

丸尾 興商 全社員参加型の経営



丸尾社長

丸尾興商(袋井市川井九八一・社長丸尾氣朝雄氏)の写真は、昭和二十六年一月に先代で長男の尊政氏(故人)が次男で中学教諭(静岡大工学部卒)の鶴岡重康郎氏

(現常務)を引き入れて、袋井駅前到店舗を構えたのが始まり。当初はペアリング、ベルト、ネジ等を主に販売していた。二年後に三男で建設者勤務の鈴木益三氏(現専務)を、その後、現社長で四男の氣朝雄氏、五男で静岡銀行東京支店勤務の眞佐雄氏(現副社長)も相次いで入社。昭和三十一年に有限会

社丸尾商店に改組し、三十八年には島田営業所を開設。三十九年には創業当時の本社(袋井営業所)を現在地に移転。四十五年五月に丸尾興商に社名変更。五十六年七月に浜松営業所開設。今年六月藤枝営業所開設。現在では、兄弟四人が力を合わせて、管材・住

設部門と機械工具部門を擁する総合商社として躍進し、特に管材部門は県下のシェアを誇っている。商圏は湖西市から沼津市の間で、機械製造メーカーと下水道・衛生設備業者・空調設備業者を合わせて二〇〇〇社に製品を供給している。

また、迅速にユーザーに対応するため、全営業所に車載無線を装備させて、全エリアをカバーする他、営業社員一人一人に女性アシスタントを配置するという独特な営業体制を築いている。事業内容は管工機材が、鋼管、ヒニールパイプ、銅管、ポンプ、バルブ、水検衛生陶器、浄化槽、厨房器具、システム

キッチン、システムバス、冷暖房機器等の販売から、機械工具がモーター、ペアリング、ホイスト、ベルト、工作機械、

電動工具、各種工具等の販売に全社員が一丸となつて従事している。従業員数は、一七〇名(男女比半々)を数え、

すことに注目したのも現社長の経営方針。年間の主な行事は、展示会(第三十二回)、丸尾興商の会(第三十五回一泊旅行会)、丸尾友の会(有志による海外旅行である)。

「藤枝営業所以外は、袋井、島田、浜松各営業所とも二〇〇坪から三〇〇坪の土地及びその建物(個人・会社)所有物件に対して、銀行も含めて一切の抵当権を付けておりませんので、当社へ販売して頂く先様が金額に関係なく安心して販売出来る体制にしております」と、丸尾社長は万全の体制で販売に打ち込んでいる。

毎週各営業所にて全社員参加での会議(週四〇時間)体制を踏まえて、実行しているのも大きな特徴。従業員一人一人が経営に参加していると言ふ意識が会社を直すと動か



島田営業所